

## 糖尿病予防などに効果

# 活性酸素の抑制で

## 宮古島市、しま興し事業で講演

宮古産ピロロサ・ピローサの研究を紹介する第四回地域資源を活かしたしま興し講演会(主催・宮古島市)が二十八日午後、マティダ市民劇場で開催され、安仁屋洋子琉球大学大学院教授が「宮古ピロロサ・ピローサと抗酸化作用」、河本昌彦日本化粧品技術者会副会長が「宮古ピロロサ・ピローサの研究」と題して講演。安仁屋氏は実験結果などに基づいて「宮古産ピロロサ・ピローサは活性酸素を抑制することにより強い抗酸化作用、肝障害抑制作用、薬物代謝酵素抑制作用がある」と述べた。会場には多数の市民が訪れ、熱心に聞き入っていた。

### 宮古ピロロサ・ピローサ

安仁屋氏は活性酸素やその対酸化作用、活性酸素と病態について講演。宮古ピロロサ・ピローサには高血圧や糖尿病、肝臓の疾病などに関わる活性酸素を抑制する作用があるとした。また、三分

の二の癌は化学物質によるものと言われており、そのほとんどが体内に入り、薬物代謝酵素P450によるものと説明した。ピロロサは薬物代謝酵素P450に対して経口投与

腹内投与のいずれでも抑制作用がある」と述べた。河本氏は「宮古ピロロサ・ピローサがアトピー性皮膚炎に効果があることなどを説明した上で、これまで副作用もなく十万人以上の人々が使用し喜ばれている。いろいろな改善効果が見られるが、有効性を調査研究しさら

に効果をアップする研究をしていきたい。(宮古でもっと生産しないと足りない)」と述べた。主催者を代表してあいさつした伊志嶺市長は、「宮古産ピロロサ・ピローサを主原料として開発・製造された商品は、糖尿病とそれに伴う動脈硬化、アトピー性皮膚炎、ぜんそくなどを改善することが各種学会で発表されるなど、人々の願いである健康生活を根底でしっかりと支えるものである」と

とが科学的にも証明されている。この事業によって新たな宮古ブランドが確立できれば、宮古の農業振興に大きく貢献するものと期待されている。きょうの講演会を通して多くの皆さんに、しま興し事業の可能性を十分浸透させたい」と述べた。また、牧野浩隆興産業振興公社理事長、尚弘子琉球大学名誉教授が来賓あいさつに立ち、同事業が宮古地域の活性化に寄与することを祈念した。

宮古産ピロロサ・ピローサ事業は、宮古産のみが有効成分を豊富に含有することが分かっている。宮古ピロロサ・ピローサを活用して地域振興を図るため、宮古島市(旧城辺町)と株式会社武蔵野免疫研究所、農業生産法人かきすま宮古有限会社が連携しながら取り組みを強化してきた。新製品開発によって用途が拡大、効能についても活用範囲が拡大している。



安仁屋洋子氏

河本昌彦氏



宮古ピロロサ・ピローサの効果について認識を深めた来場者ら  
=マティダ市民劇場